

2013 年度 JCOM 若手シンポジウム 出張報告書

作成日：2013 年 9 月 27 日(金)

文責：同志社大学院理工学研究科機械工学専攻構造工学(藤井・大窪)研究室 13M1 梅木 亮

学会名：2013 年度 JCOM 若手シンポジウム

主催：日本材料学会

開催期間：2013 年 8 月 23 日(金)~2013 年度 8 月 24 日(土)

開催場所：

第 1 日目 金沢工業大学 やつかほりサーチキャンパス 高度材料科学研究センター

第 2 日目 辰口温泉 たがわ龍泉閣

発表研究題目：セルロースナノファイバー(CNF)を添加した一方向性プリプレグを用いて成形した直交異方性炭素繊維強化プラスチック(CFRP)の強度一層厚さの影響とその力学的効果—

著者：梅木亮，邵永正，大窪和也，藤井透，川邊和正，近藤慶一，山崎剛，濱田健一，
原田哲哉

同道者：大窪 和也先生

発表形式：講演(質疑応答含めて 20 分)

学会 HP <http://compo.jsms.jp>

私は、2013 年 8 月 23 日(金)~2013 年度 8 月 24 日(土)に開催された 2013 年度 JCOM 若手シンポジウムに参加しました。下記にその詳細を示します。

1. 8 月 23 日(金)ーシンポジウム第 1 日目

特急サンダーバードに乗車し、大阪駅から小松駅に向かいました。その後在来線に乗り換え、松任駅に到着しました。松任駅からは、会の方々が用意してくださったバスに乗車し、若手シンポジウムの初日の会場である金沢工業大学に到着しました。

シンポジウムは、この行事の責任者である信州大学の倪先生の開会の挨拶から始まりました。その後、金沢工業大学の金原先生による特別講演が行われました。先生のお話は、とても面白く、先生のこれまでの経験を踏まえた内容となっていました。特別講演の後には、第 1 日目の一般講演が行われました。一般講演終了後は、金沢工業大学の施設見学をしました。

見学の後、滞在先でもあり、翌日の講演会場でもあるたがわ龍泉閣に移動しました。今回の宿泊部屋は 4 人相部屋でした。懇親会までの時間、試験用材料の作製の大変さの話で

盛り上がり，懇親会会場に向かいました。

2. 8月24日(土)ーシンポジウム第2日目

2日目のセッションは，1日目のセッションに比べて，教員の方々の講演が多く，私の中で発表をするのかと思うと，気が重くなりました。今回の私の発表は，同じことを何度も言ったりするなど上手なものではありませんでした。質疑応答の際には，CNFの分散性やなぜ添加すると効果があるのかといった質問を受けました。すべての講演の終了後，シンポジウムに参加した全員で記念撮影を行いました。

3. 若手シンポジウム終了後

たがわ龍泉閣からバスで小松駅へと向かい，駅近くの中華料理店で小松名物の焼きそばを食べました。味付けがソースではなく塩で，とてもおいしくいただきました。小松駅でゼミにお土産を購入し，その後，特急サンダーバードに乗り，大阪に戻りました。

4. 最後に

会場では，この行事をセッティングされた先生方に大変お世話になりました。そして，シンポジウムでお会いすることができた方々に，このような発表の機会を与えてくださった藤井先生および大窪先生に，株式会社DICの山崎様，原田様，濱田様に，福井県工業技術センターの川邊様，近藤様に深く感謝いたします。



Fig.1 発表中の私



Fig.2 塩焼きそば